

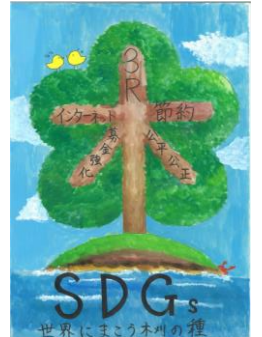
令和7年度 研修計画

1. 学校教育目標

心身ともにたくましく 自ら学び共に生きる生徒の育成
～笑顔・感動, はつらつ木刈～

2. 生徒目標

笑顔であいさつ ひびけ歌声 活かそう時間 心で清掃
～木刈中SDGs～



3. めざす学校像

- (1) 元気の挨拶と明るい歌声が響く学校
- (2) 心身の健康と体力増進に努める学校
- (3) 落ち着いた学習環境で学力向上に励む学校
- (4) 思いやりと奉仕の心を育む学校
- (5) 保護者・地域と共に子どもを育てる学校

4. めざす教師像

- (1) 生徒の良さや可能性に目を向け、一人ひとりを伸ばす教師
- (2) 教育公務員としての使命感をもつ教師
- (3) 常に学ぶ姿勢を持ち、成長しようとする教師
- (4) 教育課程の解決に協働し、即動く教師
- (5) 保護者・地域住民と連携協力する教師

5. 令和7年度 研究主題

生徒自ら課題を見だし、解決策を考える学びの在り方
～個別最適な学びと協働的な学びの指導の工夫～

(1) 生徒の実態と主題設定について

本校の生徒の多くは、授業や部活動、学校行事等に意欲的に取り組んでいる。全体的に、学習意欲があり、授業中の発言も活発で、自分の考えもしっかり持てる。学力テスト等では高得点を取る生徒が多いため、本校の平均点は全国、千葉県ともに超えている(資料1)。塾に通う生徒も非常に多く、家庭における教育への関心も極めて高い。

一方で、授業に求めるものがテストや入試向けの内容であったり、指示されたことを従順に受け止め活動できたりすることが、悪い意味で自ら考えて動けず、学びを深めにくくしているように感じる。また、能動的に活動できる生徒とそうでない生徒の差も見受けられる。(資料2)

そのほかに、集団での生活に不安があり、不登校傾向にある生徒が増加している。オンライン授業配信(エデュオプちば)を利用し、学習を進めたり、校内教育支援センター(通称:スマイル

ルーム)にて自主学習をしたり、教室とリモートをつなげて学習したりと様々な形で学習している。
ネットマナー・モラル等については、トラブルも多々見受けられるため、情報通信教育等の教育を必要とする生徒が多い。

現在、「多様性を重視した教育・人材育成」や「持続可能な社会の創り手の育成」などを実現していくためには、教員の指導力向上がこれまで以上に求められていると感じる。それらを踏まえ、育てたい力は「生徒自ら問題を見だし、解決策を考える」であり、そのためには、学習活動を工夫する指導力の向上＝個別最適な学びや協働的な学びの実践であると考え、この主題を設定した。(資料3)

(資料1) 昨年度の全国学力調査の結果 上：国語 下：数学

集計結果

対象生徒数		印西市立木刈中学校	千葉県〈公立〉	全国〈公立〉		
		246	44,085	875,574		
分類	区分	対象問題数 (問)	平均正答率(%)			
全体		15	83	57	58.1	
学習指導要領の内容	知識及び技能	(1) 言葉の特徴や使い方にに関する事項	3	83.1	57.1	59.2
		(2) 情報の扱い方にに関する事項	2	83.0	58.5	59.6
		(3) 我が国の言語文化に関する事項	1	77.8	72.8	75.8
	思考力、判断力、表現力等	A 話すこと・聞くこと	3	82.5	58.7	58.8
		B 書くこと	2	74.8	63.4	65.3
C 読むこと		4	52.0	47.3	47.9	
評価の観点	知識・技能	8	85.5	60.2	62.0	
	思考・判断・表現	9	80.5	54.7	55.4	
	主体的に学習に取り組む態度	0				
問題形式	選択式	9	85.3	59.8	61.0	
	短答式	3	85.2	80.9	81.8	
	記述式	3	51.8	44.2	45.5	

<学習指導要領の内容の平均正答率の状況>

Legend: 貴校 (Red solid line), 千葉県〈公立〉 (Blue dashed line), 全国〈公立〉 (Black dotted line)

Categories: (1) 言葉の特徴や使い方にに関する事項, (2) 情報の扱い方にに関する事項, (3) 我が国の言語文化に関する事項, A 話すこと・聞くこと, B 書くこと, C 読むこと

Category	貴校	千葉県〈公立〉	全国〈公立〉
(1) 言葉の特徴や使い方にに関する事項	83.1	57.1	59.2
(2) 情報の扱い方にに関する事項	83.0	58.5	59.6
(3) 我が国の言語文化に関する事項	77.8	72.8	75.8
A 話すこと・聞くこと	82.5	58.7	58.8
B 書くこと	74.8	63.4	65.3
C 読むこと	52.0	47.3	47.9

集計結果

対象生徒数		印西市立木刈中学校	千葉県〈公立〉	全国〈公立〉	
		246	44,056	875,952	
分類	区分	対象問題数 (問)	平均正答率(%)		
全体		16	80	51	52.5
学習指導要領の 領域	A 数と式	5	80.0	49.1	51.1
	B 図形	3	51.8	39.2	40.3
	C 関数	4	86.2	60.1	60.7
	D データの活用	4	80.3	53.2	55.5
評価の観点	知識・技能	11	71.0	61.7	63.1
	思考・判断・表現	5	35.9	27.6	29.3
	主体的に学習に取り組む態度	0			
問題形式	選択式	5	84.1	58.7	58.5
	短答式	6	78.7	65.8	67.0
	記述式	5	35.9	27.6	29.3

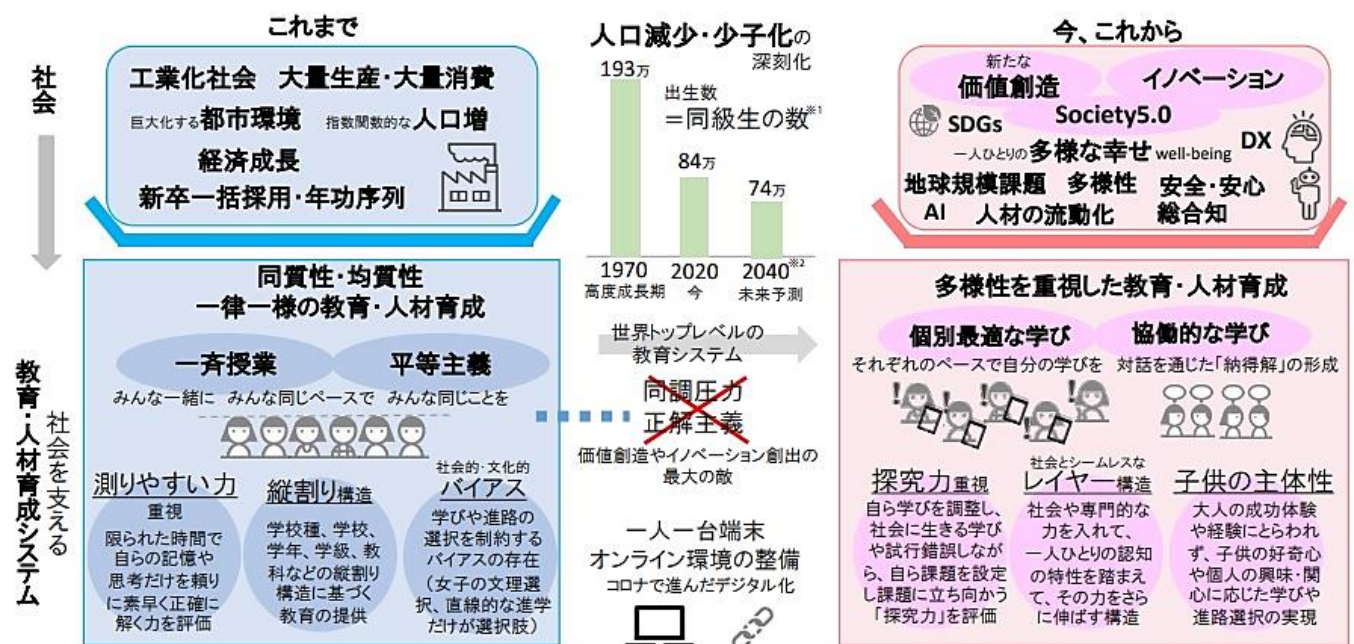
<学習指導要領の領域の平均正答率の状況>

(資料2) 昨年度の研究のまとめ 各教科が感じる生徒の実態について

各教科	生徒の実態
国語科	・積極的に挙手・発言をする生徒が多く見られる。 ・発表や挙手が一部の生徒に限られる学級もある。 ・他者の意見に興味を持つことができる生徒が多い。 ・クロームブックを使用していないと感じる生徒が多い。
社会科	社会科の授業において、生徒たちは高い関心を示し、授業中は活発に発言する様子が見られます。特に、社会的事象や時事問題に対しては、自らの考えを積極的に発表しようとする意欲が高く、活発な意見交換が行われています。また、ICT 機器を効果的に活用し、情報収集や分析、発表資料の作成など、様々な学習活動に積極的に取り組んでい

	る。
数学科	落ち着いて授業に取り組むことができ、課題に意欲的に取り組む生徒が多い。数学的理解力が高い生徒が多い。一方で、苦手意識が強く、始めから諦めてしまっている生徒も見受けられる。
理科	授業に対して意欲的に取り組んでいる。既習事項をもとに結果や考察を書くことはできるが、自分で考え文章にすることへ苦手意識を持っている生徒が一定数いる。
音楽科	授業に対して意欲的に取り組んでいる。歌唱活動においてはパートリーダーが機能しているクラスとそうでないクラスで差がある。また、授業での発言や発表もクラスで差がある。
美術科	美術への関心が高い生徒が多く、全体的には意欲的に落ち着いて授業ができているが、個別の支援が必要な生徒もいる。
保健体育科	意欲的に活動する生徒が多い。指示に対しての動きは良いが、自ら考え、積極的に行動する力は弱い。仲間とのグループ活動は、励まし合い、概ね良い雰囲気で活動ができる。
技術・家庭科	<技術分野> 授業へ前向きに取り組む、作業について、積極的に取り組む姿が見られた。授業を通じて基礎的な技能が身につくと、自ら進んで作業を進めようとする姿が見られるようになりつつある。安全な作業を心がけようとする生徒が増えた。1・3年生は、無事故で作業を終えることができた。 <家庭分野> 指示されたことについては、熱心に知識や技能を身につけようと努力する生徒が多い。自分で課題を見つけ改善しようとする生徒はまだ少ないが、自分の考えを持ち、発言する生徒が増えてきた。
外国語科	・英語を話すことに興味はあるが、実際にどのようにコミュニケーションを取るべきなのか躊躇してしまう生徒もいる。 ・半数以上の生徒がクロームブックを用いてプレゼンテーションをすることに興味をもっている。

(資料3)



Society5.0の実現のために、学校教育には、次代を切り拓くイノベーションの源泉である創造性と「多様性」「公正や個人の尊厳」「多様な幸せ(well-being)」の価値が両立する「持続可能な社会の創り手」を育むことが求められている

(出典：内閣府 総合科学技術・イノベーション会議 教育・人材育成ワーキンググループ)

(2) 令和7年度の取り組み

<年間を通して実践>

- ・全教科で共通した学習規律、学び方の基礎・基本の指導を充実。
- ・授業のねらい(学習課題)を明確にした生徒の主体的で協働的な活動。
- ・わかる授業、力のつく授業の指導。板書計画、生徒の活動時間の確保、定着状況の把握(自分の言葉で学習のまとめを書く)。
- ・情報活用能力の育成を図る教材・教具(タブレット等)の工夫。
- ・リーディング DX スクール事業にのっとり、生徒自身がクラウド環境を使いこなす自らの学習を調整したり、課題を解決したりする能力の育成。
- ・表現力(プレゼンテーション能力等)の育成。
- ・生徒目標(あいさつ、歌声、時間、清掃)や木刈中 SDGs実現の取り組み。生徒会本部、専門委員会の活動の充実。
- ・笑顔・感動体験を増やし、あたたかく居心地の良い学校・学年・学級づくり。
- ・生徒会活動や学級活動、学校行事等を通して、主体的・協働的に行動できる態度や自己有用感の育成。
- ・読書活動を通じた言語能力の育成と情操教育。
- ・ユニバーサルデザインを取り入れた学級経営と授業の実践。

<5教科の実践例>

教科	「見方・考え方」を鍛える →学習課題の設定の工夫	個別最適な学び の手だて	協働的な学びの手だて
国語	「登場人物はどのような気持ちだろう」 👁️ 見方→心情や行動に注目する 💡 考え方→「なぜこの行動を取ったのか?」と推測する	学習活動の工夫 ・個別学習 ・グループ別学習	✅ 活動の流れ ペアで読み取り → 意見を交換する → グループで議論 → 全体で発表と質疑応答 → 振り返り
社会	「江戸時代の参勤交代は何のために行われたのか」 👁️ 見方→政治の視点で見る → 大名を統制する制度と考える 💡 考え方→「経済への影響」や「大名の負担」を深く考える	・繰り返し学習 ・学習内容の習熟の程度に応じた学習	✅ 活動の流れ(SDGs) 役割分担 → 調べ学習 → 意見交換・資料作成 → 発表と質疑応答 → 振り返り
数学	「三角形の面積はどのように求められるのか」 👁️ 見方→図形の辺や高さに注目する 💡 考え方→「公式を使って計算する」	・生徒の興味・関心等に応じた課題学習 ・補充的な学習や発展的な学習など	✅ 活動の流れ(文章問題解く) 問題の理解を共有 → 解法を話し合う → 役割分担して計算と検証 → 結果を共有し修正 → 振り返り
理科	「植物はなぜ光が必要なのか」 👁️ 見方→植物の生態の視点で考える 💡 考え方→「光合成と成長の関係」を論理的に考える		✅ 活動の流れ(電気回路作り) グループで実験計画を立てる → 役割分担して作業 → データの分析と共有 → 発表とフィードバック → 振り返り
英語	「英語圏の行事にはどのようなものがあるだろう」(例:ハロウィン) 👁️ 「見方」→英語圏の習慣や風習に注目する 💡 「考え方」→日本のお盆とハロウィンの共通点と違いを比較する、「なぜ英語圏では仮装するのか?」と理由を考える		✅ 活動の流れ グループで役割分担 → 英語で調査とメモ作成 → グループでポスターやスライドを作成 → クラスで発表と質疑応答 → 振り返り

※ 個別最適な学び…ラーメン屋さんの資料(毎日の連絡に載せる)

(3) 学習指導（学習指導全体計画を参照）

- ・月1回の教科会議実施
- ・各教科のシラバスや授業始めのガイダンスを作成し、評価規準や評価基準について生徒と保護者の理解を図る。（シラバスは学校のHPにUP）

(4) 道徳教育・人権教育（道徳教育全体計画を参照）

- ・教科書…教育出版
- ・評価について…年1回、学年末に評価
- ・通知表の記載方法…文章表記
- ・要録の記載方法…印西市の様式
- ・5月：いのちの授業⇒SOSの出し方教育 12月：人権週間⇒絵本の読み聞かせ

(5) 特別活動（特別活動全体計画を参照）

- ・特別活動全体計画やキャリア教育全体計画を基にした各行事の企画・提案。
- ・集団や社会の一員としての自覚と実践的態度の育成。
- ・学級への所属感を感じられる教室環境づくり。

(6) 総合的な学習（総合的な学習計画を参照）

- ・テキスト…中学生生活と進路
- ・評価について…年2回、前期末と後期末
- ・通知表の記載方法…学習活動、観点、評価（文章表記）
- ・通知表の記載内容…1学年：校外学習、職業講話
2学年：自然教室、職場体験
3学年：修学旅行、進路学習
- ・要録の記載方法…印西市の様式
- ・キャリアパスポート…学年始め、1学期末、（2学期始め）、2学期末、（3学期始め）、学年末

(7) 生徒指導（生徒指導全体計画を参照）

- ・「心の教育」の一層の充実
- ・生徒指導の「強弱」はあっても「有無」は出さない。
- ・教師が生徒と積極的に関わり、いじめや不登校の未然防止、早期発見、早期対応。
- ・教育相談の充実。
- ・校内教育支援センターの活用内容の周知徹底。
- ・家庭や地域と連携した社会のルールや生活面の指導。
- ・防災意識の向上を図る。
- ・月1回の安全点検の徹底。
- ・清掃活動（黙動）の効率化と充実。

(8) その他

- ・社会人活用等、保護者や地域との連携。
- (地域の方を学校に招く行事や交流を深める授業の実施等)

6. 印西市の研修会への参加

(1) 印西市小中教育研究会(市教研)

- ・授業研究を通して、指導技術及び技能の向上を図る。
- ・各地域の課題を持ち寄り、研究協議を進めると共に情報交換を密にする。

〈日程〉中学校：令和7年 月 日()午後

小学校：令和7年 月 日()午後

(参考・・・4年に1度のサイクルで会場校になる。前回、木刈中は令和5年度に実施。)

(2) 印西市教育センター主催 夏季研修会

- ・6月頃に希望をとり調整。
- ・ICT 支援員によるマンツーマンの ICT の研修もあります。

7. 校内研修会

(1) 過去4年間の研修実績

令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
①指導室訪問 ②校内授業研修 ・悉皆研修(道徳) ③校内研修 ・AED研修 ④夏季研修 ・Google Kick Start 研修 ・ロイロノート・ミライシー ド活用研修 ⑤悉皆研修 ・初任者研修 ・中学校2年目研修 ・中学校3年目研修 ・中堅教諭等資質向上 研修	①所長訪問 ②校内授業研修 ・教科10月 ・道徳11月 ③校内研修 ・AED研修 ・特別支援教育研修 ④夏季研修 ・ICT活用研修 ⑤悉皆研修 ・初任者研修 ・中学校2年目研修 ・中学校3年目研修 ・中堅教諭等資質向上 研修 ・専門研修 ・特別支援初任担当者 研修	①管理訪問 ②市教研 ・国技家音体道 ③校内授業研修 ・教科10月 ・道徳11,2月 ④校内研修 ・AED研修 ・不登校支援研修 ・人権研修 ⑤夏季研修 ・LGBTQ研修等 ⑤悉皆研修 ・初任者研修 ・中学校2年目研修 ・中堅教諭等資質向上 研修 ・中堅教諭等資質向上 研修 plus ・専門研修	①次長訪問 ②校内授業研修 ・10月、11月、1月 (教科と道徳) ③校内研修(月1) ・モラールアップ研修 ・教科会議 ④夏季研修 ・不祥事防止研修 ・AED研修 ・不登校支援研修 ⑤悉皆研修 ・初任者研修 ・初任者研修 ・中学校2年目研修 ・中学校3年目研修 ・中堅教諭等資質向上 研修

(2) 本年度の研修について

<大まかな研修計画、到達目標>

時期	研修内容	年間を通じた研修	その他・不定期
4月～6月	(指導室訪問もあるので、) 指導案を各教科でしっかり検討しよう。 振り返り	☐ 相互授業参観 をしよう。	☐ 年間の計画を 立てる。(4月) ☐ 評価評定の仕 方について(4月 頃)
7月～8月	夏季研修をたくさん受講しよう。→共有 (他:中堅が若手へ学級経営や生徒指導 について工夫していることや意識しているこ とを伝える→若手がそれを聞いて、質問したり、 アドバイスをもらったりする→助言者に管理職 をいれる。管理職が中堅へ校務分掌や教育に関 わる法律について研修する。等) 振り返り	☐ ローテーション 道徳やローテーシ ョン短学活をして みよう。 ☐ 道徳のマンツーマン指導	☐ AED研修(5 月頃) ☐ 進路について の勉強会(6月 頃) ☐ キャリア教育、 金融教育につい て
9月～12月	授業評価アンケートを活かした授業改善を しよう。 先生方のミニ実践発表会をしよう。(夏季 研修を受けてうまくいったことや工夫したこと、 リーディングDXの報告会等) 振り返り	☐ 教科会議 ☐ 年間指導計画 の改善 ☐ モラルアップ 研修	☐ 教育とAIにつ いて ☐ Canvaを活用 した通信の作成 ☐ その他希望の 研修
1月～3月	研修のまとめをしよう。 振り返り		

※具体的な内容は職員会議や毎日の連絡、教科会議等を通して伝達していきます。

8. 自己研修

- ・「目標申告制度」を活用し、課題を決めて計画的に自己研修に励む。
- ・千葉県総合教育センター「いつでもどこでもオーダーメイド研修」等
(QRコードは、千葉県総合教育センターのHPです。)
- ・印教研や県教研の提案や発表

